

刈谷市における外国人等教育の 推進支援体制

- ・子どもたちが個々のニーズに合った日本語指導を受けられるように、それぞれの学びの場が連携できる体制を構築した。
- ・子どもたちが効果的な指導を受けられるように、指導者の資質向上を目指した取組を行った。

＜幼稚園・保育園に在籍する子ども＞
(年長児・10月以降)



＜日本語初期指導＞
○プレクラス（プレスクール）
(市内2校設置)

- ◇語学相談員4名
 - ・ポルトガル語 教員免許なし
 - ・タガログ語 教員免許なし
 - ・タガログ語 教員免許なし
 - ・タガログ語 教員免許なし

・日本語初期指導が必要な子どもたちが指導を受けている割合 (令和6年度100%)

＜連携協議会＞

- 日本語適応指導教室担当者会
 - ◇担当教諭23名 学校教育課1名

小中学校通常・特別支援学級に
在籍する子ども



＜特別の教育課程による指導＞

- 日本語適応指導教室 (市内10校設置)
 - ◇担当教諭23名



＜巡回指導・翻訳＞ (全小中学校)

- ◇語学指導員6名
 - ・ポルトガル語1名 教員免許なし
 - ・タガログ語3名 教員免許なし
 - ・ベトナム語1名 教員免許なし
 - ・中国語1名 教員免許なし
- ◇ボランティア団体
 - ・愛知教育大学外国人児童生徒リソースルーム
学生ボランティア
 - ・スリーエス

＜刈谷市教育委員会 学校教育課＞

- ・日本語適応教室、日本語初期指導教室の設置、運営計画の立案
- ・語学指導員、語学相談員の巡回、配置計画の作成
- ・日本語指導ボランティアへの連絡調整
- ・指導担当者の資質向上研修の企画